

まちづくり意見募集(パブリックコメント)の結果公表

新嵐山スカイパークのグランドデザイン(案)に対して、住民の皆様からご意見を募集しました結果について、ご意見の概要と町としての対応・考え方は下記のとおりです。

ご意見をお寄せいただきありがとうございました。

【意見募集結果】

案 件 名	新嵐山スカイパークのグランドデザイン(案)		
募 集 期 間	令和6年12月23日(月)～令和7年1月23日(木)		
意 見 の 件 数 (意見提出者数)	6件(6人)		
意 見 の 取 り 扱 い	修正	案を修正するもの	0件
	既記載	既に案に盛り込んでいるもの	1件
	参考	今後の参考とするもの	3件
	その他	意見として伺ったもの	2件
意 見 の 受 け 取 り	持参		0人
	郵送		1人
	ファクス		0人
	電子メール		0人
	オンラインフォーム		5人

【意見等の内容】

番号	ご意見	ご意見に対する考え方	取り扱い
1	<p>①観光だけではなく公共サービスの拠点機能を持たせては？役場出張所の設置、美生 上美生の郵便局の統合設置等</p> <p>②町内企業とのコラボレーション:帯広カントリークラブ、道産子牧 等</p> <p>③温浴施設是非お願いします。サウナ併設で北投石などを入れた浴槽(治療効果を期待した集客)</p>	<p>①記載いただいた公共サービスにつきましては、現時点では統合等の想定はありませんが、新嵐山スカイパークが地域の皆さんの交流スペースとして多くの方にご利用いただけるよう進めます。</p> <p>②施設整備等の際に町内企業(事業者)との連携が重要と考えており、事業者の公募等においては、それらの視点も持って進めます。</p> <p>③温浴施設につきましては都市公園ゾーンでの整備は想定しておりませんが、民間活用ゾーンの利活用公募の際に、温浴施設や宿泊機能も含めて積極的に民間活用を進めます。</p>	【その他】
2	<p>周りにはサホロ、トナム、糠平等のスキー場があります。嵐山の良さを忘れないでほしい。求めているのはリゾート地ではなく、地域に密着した中学生でも一人で行ってしまいうスキー場ですよ。</p>	<p>町では、ランドデザインの策定にあたり、令和6年3月に「新嵐山スカイパークのあり方の骨格」をまとめました。</p> <p>あり方の骨格においては、メモロスキー場は、社会体育施設に類する機能として、子どもたちの教育の場、冬のスポーツの場であることから、令和6年度シーズンからの営業再開を目指すとしており、令和6年度シーズンに再オープンしました。</p> <p>ご意見にもあるように、メモロスキー場は地域に密着したスキー場であり、今後も子どもたちの教育の場、冬のスポーツの場として運営していく考えです。</p>	【その他】

番号	意見の概要	意見に対する考え方	取り扱い
3	<p>単に施設(いわゆる箱物的な物体)が整備されただけでは人は集うことはあれ持続性が伴わない。リピーターをいかに増やすかが鍵であり、そこに注力しようという表現が見当たらない。 人が期待するのは物ではなくそこに精神的な憩いを感じることが出来るかである。具体的には二つのことを提案したい。</p> <p>①日高山脈襟裳十勝国立公園の玄関口であることを自覚認識し、台風で荒れた連絡登山道をしっかりと整備することである。これが実現すればかつてそうであった原始エリアへの出入りは我が街芽室からという大きな看板を再度打ち立てることとなり、当然のことながらベースキャンプは嵐山ということになる。かつてはそうだったのである。日本だけではなく世界中の自然愛好家が嵐山を拠点として国立公園へ向かうことになり、芽室町は世界ブランドとなることは期待できる。それは町外民だけの価値・恩恵だけではない。芽室町民の誇りでもあり何も無い芽室町から世界に誇る芽室町へと変貌する大きなチャンスである。嵐山だけを孤立させてビックブランドにするのは夢物語だと気づいてほしい。</p> <p>②芽室町にかつてはあり、今失った最大の地域遺産はモール温泉である。温泉にひたった後にキャンプする、釣りをした後に温泉に浸かってビールを飲む、伏美岳から下りてきてから温泉に入る、かつては出来たのである。今時代、町民のための銭湯はもういない。しかし入湯料がたとえ高くても十勝に住んでいるからにはモール温泉に入りたいのである。むしろ本物の温泉が高いのは当たり前であり、高いお金を払うからこそ高級感があり特別感が得られるのである。</p> <p>私が提案したかったのは以上①②の2点である。当然費用はかかる。しかし今回の意見は将来への投資であり、すぐ利益を回収しようなどという浅い思慮では実現はしないのは明白である。今回のランドデザインが将来の芽室町の姿を描いたのであれば初期投資は度外視するべきである。①②があったから私は25年前にこの町に家を建て子供を大きく育てることができた。それがなくなった今、この町と今の家を捨て、別の街に墓を設けることも考えざるを得ない。①②があれば今の家は子供に譲ることだろう。</p>	<p>町民の皆さんや町外から多くのご利用をいただくためには、ご利用いただいた方に新嵐山スカイパークの魅力に触れていただくとともに、再度訪れたいと感じていただくため、サービスの充実や差別化などが重要と考えています。</p> <p>新嵐山スカイパークには恵まれた自然環境やそれを活かしたアクティビティ(メムロスキー場など)があり、ランドデザインにおいては、拠点機能を整備し、夏はキャンプ場やドッグラン、パークゴルフ場、冬はスキー場と組み合わせることで、通年でサービスの充実や新嵐山スカイパークにしかない強みとして、十勝管内外の地域との差別化が図れるものと考えています。</p> <p>新嵐山スカイパークの再生にあたっては、基本理念を『「みんなが集い・遊び・憩う」新嵐山スカイパーク ～30年後も笑顔が集まる風景～』としており、「30年後も笑顔が集まる風景」にはその考え方が含まれておりますが、基本理念の考え方として町民の皆さんに伝わるよう取り組みます。</p> <p>①日高山脈襟裳十勝国立公園の玄関口として、今後、芽室公園を想定したPark-PFI制度を活用したビジターセンターの設置を検討しており、本町だけでなく、国立公園エリアを有する他市町村とも連携して進めます。なお、連絡登山道につきましては、環境省等と整備に係る手法について意見交換や要望等を行っていき考えです。</p> <p>②温泉(温浴施設)につきましては都市公園ゾーンでの整備は想定しておりませんが、民間活用ゾーンの利活用公募の際に、温浴施設や宿泊機能も含めて積極的に民間活用を進めます。</p>	【参考】

番号	意見の概要	意見に対する考え方	取り扱い
4	<p>このような事態に陥り、町民からの意見などを乞うている現状について、率直に反省し、全体構想をまとめたものについて意見させていただく。</p> <p>そもそも第三セクター方式で運営されていた指定管理者は、実態として役場が運営していたことによる経営破綻によって、多額の損害を与えた反省のもとに考えられたものかを問う。</p> <p>役場特別職ならびに一般職が法人取締役となって経営計画を立案、プロパー職員が実行する構図は、現場を見ず机上の空論、先進地の優良事例の模倣に終始し、言われたとおり遂行することが職責となり、本来追求すべき利益が最優先されないという、「お役所仕事」の典型であったことを真に反省すべきであることを忘れないでいただきたい。現場を見ていると反論するなら、どのくらいスカイパークに足を運んでしまいましたが、自席は役場ですよ。</p> <p>負の遺産の活用 破綻前、一般会計商工費で購入された、スカイパーク用途の備品の活用についてはどのように考えているのか。今回の全体構想に沿わないため、用途不要になり放置されるのか。リスト化が必要。都市公園化する公園機能に管理換えできる余地はあるのか。</p> <p>老朽化した施設の解体撤去について、今後同じような施設が再び必要になり、再度改築することがないように、検討が必要。既存の施設である旧管理棟、フォレストハウス、起債のない格納庫は解体で良いのか。長寿命化計画にすべきでないか。</p> <p>新嵐山荘は宿泊部分のみ解体し、増築部分は残すことでよいか。すべて解体し新たな施設の改築となれば、コストなど莫大であり、今回の全体構想に含まれていない。そこまで思料する必要があるが、予算規模の明示がまったくない。</p> <p>公園機能(ロッジ再整備及びリフト更新は国の制度と連携して整備)とのことで、具体的な財源の明示がない。活用した整備であれば、長い年月窮屈な思いのない、かつ納得のいくコストにおける整備を。</p> <p>窮屈とは、町営プールのような、狭い更衣室、教育活動において大人数で雑然とした環境に陥ることのないような空間確保。なお、そんなことないと言うのであれば、小学校の授業でバス3台、一気に入館する様子を直接見ていただければ理解いただけると。役場庁舎もすでに手狭になってきているを感じるが、国土交通省の新営一般庁舎面積算定基準などを参考に、あとから手狭になったとならないように、しっかりと見通しをすべき。</p> <p>教育活動で足を運んでもらうということは、将来成人となり友人知</p>	<p>令和5年10月のめむろ新嵐山株式会社の経営破綻につきましては、町民の皆様、利用者、法人と取引のあった事業者、金融機関等に多大なご迷惑をかけたことをお詫びいたします。</p> <p>町では、今後の新嵐山スカイパークの再生に向けて、法人がどのような経緯で破綻に至ったか、町がどのように関わってきたかなど、経営及び政策の両面から検証を行い、報告をまとめております。</p> <p>町民の皆様には改めてお詫びするとともに、検証結果をふまえ、新嵐山スカイパークの再生に向けて、ご意見やご要望をいただきながら、進めてまいります。</p> <p>新嵐山スカイパークの再生に向けたランドデザインにおいては、既存宿舍は老朽化が進んでおり、解体する考えです。増築部分についても、設置から30年以上が経過し、暖房や水道の配管の老朽化とともに、既存宿舍からボイラーや水道配管が接続されており、単独で使うことが困難なため解体することとしております。</p> <p>同様に老朽化が進んでいる旧管理棟、フォレストハウス、格納庫、旧職員住宅等についても解体・撤去し、機能として必要なものは統合し設置する考えです。</p> <p>備品につきましては、町の備品台帳で整理しており、新たな施設で利用可能なものは引き続き、利用します。</p> <p>新嵐山スカイパークの再生に向けた具体的な規模や財源を含めた事業費につきましては、令和7年度に策定する基本計画でお示しする考えですが、いただいたご意見も参考に、町内外から多くのご利用をいただけるよう規模なども検討します。</p> <p>また、施設整備等の際に町内企業(事業者)との連携が重要と考えており、事業者の公募等においては、それらの視点も持って進めます。</p> <p>町では新嵐山スカイパークの再生にあたり、ランドデザイン(全体構想)に基づき、来年度以降、基本計画等に進む考えであり、町民の皆さんのご期待に応えられるよう、取組を進めます。</p>	【参考】

	<p>人、そして家族行きたいという動機付けにつながる視点をお持ちでしょうか。</p> <p>先の話だが町内業者の積極的参入を図るべきで、破綻前は飲食部分が排除されたり、邪魔にされたに等しい環境は絶対にあってはならない。</p> <p>全体構想のその先はただ施設を整備した。では「お役所仕事」を脱しておらず、二の舞を想像してしまう。整備後どのような手法で、年間を通した集客ができるかを今から考えるべき。数値目標を明確に。再度言うが、ただ施設を整備しただけでは、同じことの繰り返し。自分ごと会議など開催しても、それは町民参加したという既成事実だけ。いままで、提言しても変わっていませんか。変わっていたら、こんな結果にはなっていない。</p> <p>この全体構想をまとめた責任を負ってほしい。公金を使い、運営したがまた破綻し、またそれを公金で整備する。これが失敗したら町民に対する背任行為である自覚を持ち、真剣に向き合っていただきたい。町民の期待を裏切らない。それが役場職員の基本中の基本。議会も納得させ、町長も役場出身だからと遠慮せず、職員への積極的なアプローチにより、すばらしい成案となることを約束することが命題。</p>		
5	<p>フィールドを活用したサービスの中に、ウォータースライダーをぜひ入れてほしい。芽室公園でも子供たちが1番集まるのは、遊具やアスレチックではなく、ウォータースライダーです。私も孫たちを連れて芽室公園に来ると、真っ先にウォータースライダーに走って行きます。子供たちにとっては、必須だと思います。</p>	<p>新嵐山スカイパークの再生に向けては、子育て世代の皆様アンケート調査を実施しており、ご意見いただいたウォータースライダーも含めて、さまざまなご意見・ご要望をいただいています。</p> <p>町では新嵐山スカイパークの再生にあたり、ランドデザイン(全体構想)を基づき、来年度以降、基本計画等に進む考えであり、これらのご意見・ご要望も参考に取組を進めます。</p>	【参考】
6	<p>アウトドア、散策、カフェ、イベントなど、観光含め誰もが憩う場所になるようにしてほしい。自然は残して欲しい。</p>	<p>新嵐山スカイパークの再生にあたっては、基本理念を『「みんなが集い・遊び・憩う」新嵐山スカイパーク ～30年後も笑顔が集まる風景～』とし、緑豊かな自然環境のなかで、子どもからお年寄りまで、さまざまな世代の方が集い、遊び、憩う場所として新嵐山スカイパークの再生に取り組むとともに、30年後もたくさんの笑顔が集まる新嵐山スカイパークを目指しており、ご意見いただいた機能などにより、誰もが憩う場所になることが重要と考えています。</p>	【既記載】